

7 中学校用「五月の風——カナ」 指導例

本資料「五月の風」では、友達同士の連絡（意思疎通）にソーシャルネットワークサービス（ここでは「ライン」を取り上げている）が利用されている中で、スマートフォンを持たない生徒が、友達とラインで連絡を取り合えないことから起こった出来事を取り上げている。二人の女子生徒の心の動きを描き、それぞれの側から一つの出来事をとらえて考えられるように2編を作成し、情報モラルに関する指導にも活用できるようにしている。

カナは、自分で必要がないと決めてスマートフォンを持っていなかったが、そのことで友達とのすれ違いが起こり、疎外感や不安を感じ気持ちが揺らぐ。一方、カナの友達であり、ラインで部活動の仲間と連絡を取り合うミカは、カナがスマートフォンを持っていないことを知りながら、待ち合わせ場所の変更をカナに伝えないままにしてしまったことで、自分自身を責める。カナの立場からは、自分で判断し実行することの大切さについて、ミカの立場からは、互いに信頼し合い高め合う友情の素晴らしさについて考えることができるであろう。多くの中学生にとって彼女らの姿や悩みは等身大であり、それぞれのものの見方や考え方の変容を共感をもって受けとめることができるのではないだろうか。

それぞれの道徳の内容の指導に活用できるよう作成しているが、例えば2週連続してそれぞれの資料を活用することで、より生徒の興味を喚起し、どちらの立場からも考えることを通して、自分たちの友達との関係を振り返り、見直すことにつなげることもできるのではないか。今後の情報機器との付き合い方を考えるきっかけの一つともしたい。

- ◆ **主題名** 自分を貫く 指導内容 1－(3)
- 資料名** 五月の風——カナ (奈良県教育委員会)

◆ ねらい

自分で決めてスマートフォンを持たないでいたが、ラインがもとになり、友達とのすれ違いが起こり疎外感や不安を感じて気持ちが揺らぐ主人公について話し合い、主人公の自分の考えを貫こうとする決意から、自分で判断し実行することや、そのことで自分自身に対する責任を果たすことの大切さに気付かせ、自主的、自立的に生きようとする意欲を高める。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される生徒の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、ラインについて話し合う。	○ 「ライン」を知っているか。 ・ スマホで使うアプリでトークや通話ができる。 ・ 友達と使っている。	・ 自由に話し合わせ、資料への興味・関心を喚起する。	
展 開	2、資料「五月の風——カナ」を読んで話し合う。	○ カナが3時間以上も待ち続けたのはなぜだろうか。 ・ もう少し待ったら来るだろうとずっと期待していた。 ・ 友達との約束を信じている。 ・ 仲間から外されているのかもしれない。	・ 同様の経験があれば振り返らせ、待つときの不安感や期待感などに共感できるようにするとともに、主人公は友達とラインができないことでどこか引け目を感じ	

展		<p>れないという不安から、そのまま帰れなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ミカとの電話を切った後、カナが母にぶつけたのはどんな思いだっただろうか。 ・自分が疎外されたという不安や悲しさ。 ・スマホを持っていないせいだという悔しさ。 ・買ってくれないからこうなったという責任転嫁。 <p>◎ カナがベランダに出て考えたことはどんなことだろうか。また、「ちゃんと伝えなくちゃ…」と思ったこととは、どんなことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホは高校生になるまで持たないと自分で決めたことは間違っていない。 ・ラインの話題に入れなかったことで友達から疎外されるのは嫌だ。 ・ラインはできないがこれからも友達として付き合いしてほしい。 ・ミカとはずっと仲よくしたい。 	<p>ていることも押さえるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部のメンバーのラインによる情報伝達の輪に入れない疎外感や不安をおさえ、それらを母のせいにし、八つ当たりしてしまった主人公の思いに共感できるようにする。 ・自分で決めたスマートフォンを持たないことと友達との付き合いの間で気持ちが揺れる主人公に共感させ、その上で、自分が決めたことを曲げることなく、友達にきちんと自分の気持ちを伝えようとする決意をとらえられるようにする。 ・ワークシートに書き込むことを通してじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。 	
開	3、自分を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ カナの考えや行動から学ぶことはあるか。 ・悩んでも、最後は友達を信じて自分の思いを伝えた強さ。 ・自分でよく考えて決め、そのことをやり通す大切さ。 ・他者に自分を合わせることなく、他者とうまく付き合うことの難しさ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを持つことや使うことの是非について議論するものではないことに留意する。主人公が自分で決めたことを貫こうとした理由や意義について、それは誰のためなのかという観点から話し合い、自分自身に対する責任を果たすことの大切さに気付くことができるようにする。 	ワークシート ワークシート
終末	4、「私たちの道徳 中学校」を開き、読んだり書き込んだりする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの道徳」24、25ページを開きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの道徳」を活用したり、指導者の体験を話したりして、自分で判断し実行することや、そのことで自分自身に対する責任を果たすことの大切さに気付かせ、自主的、自律的に生きようとする意欲を高めるようにする。 	「私たちの道徳」

※「私たちの道徳 中学校」は、次のURLよりダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/detail/1344255.htm